

「大山きやらばく保育園」 「中山みどりの森保育園」

「拠点保育所の名称が決定」

来年4月に開園予定の、大山・中山地区拠点保育所の名称を町民の皆さんから募集したところ、延べ84人の方から、

中山に95点、大山に90点の応募がありました。

11月7日(月)に「拠点保育所名称選定委員会」(委員長・伊澤百子教育委員長)を開き、応募された名称をもとに検討し、それぞれの園の名称が決定しました。

大山地区は「大山きやらばく保育園」。これは応募数が多かったことや、子どもたちが、冬の厳しい寒さにも耐えて根を張っていく『大山きやらばく』のようにたくましく育ってほしいという願いが込められています。

また、中山地区では「中山みどりの森保育園」が選ばれました。文教の森に園舎が設置されること、子どもの成長を願い、みどりご(嬰兒)が新芽からやがて大木になるといった思いからつけられた名称です。



▶建設中の大山きやらばく保育園

親子でエンジョイ! ハロウィン パーティー

～光徳保育所～

光徳保育所では外国語活動として、毎月「えいごのじかん」を設けて、英語に親しむ機会を作っています。子どもたちは、外国語指導のキエン先生に簡単なゲームや歌遊びを教わったり、一緒に田植えやプール遊びを楽しんだりしてきました。



▶キエン先生と一緒に

10月31日(月)の参観日は、外国の文化に触れようと、ハロウィンパーティーを開きました。この日は親子一緒にフォークダンスやゲーム、記念撮影などをして過ごしました。

子どもたちは「トリックオア トリート」(何かちょうだい。くれないといたずらするぞ)と言って、魔女の館のコーナーでキャンディをもらい、ゲームのコーナーではキエン先生と古いゲームをしました。

子どもたちは「トリックオア トリート」(何かちょうだい。くれないといたずらするぞ)と言って、魔女の館のコーナーでキャンディをもらい、ゲームのコーナーではキエン先生と古いゲームをしました。

懐かしい曲を鑑賞 SPレコードで

参加者は約30人。懐かしい曲が流れると口ずさむ人も。珍しい鑑賞会で、芸術の秋のひとつを楽しむことができました。

10月1日(土)に、名和公民館で『片隅の針音、蓄音器で聴くSP(スタンダード・プレイング)レコード』と題して鑑賞会が行われました。講師に大山町新坪田在住の久葉章一郎さんをお迎えし、久葉さん所有の蓄音器とSPレコードで、明治終わりから昭和20年代後半までの日本の楽曲30曲あまりを鑑賞しました。



▲講師の久葉さんが、ユーモアを交えて曲にまつわる話を紹介